

薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ…



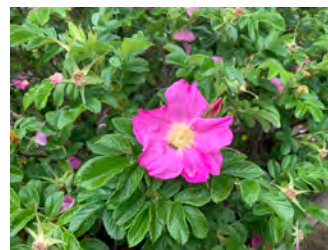
2020年
5月13日
第90号

カミツレ (キク科)

今、第二圃場で野菊を思わせるような、舌状花が白く、管状花が黄色の花が沢山見られます。ヨーロッパ原産、やがて北米に渡来し、我が国でも沢山栽培されています。英名は「カモミール」。和名は、オランダ語での「カミール」に漢字で「加密列」を当てたときの音読みから。属名の *Matricaria* は、ラテン語の *matrix* = 子宮から、婦人病用薬として使われていたことが連想されます。花を薬用とし、鎮静、消化促進を目的に使用しますが、ハーブティーの原料としての利用のほうが多いです。

付け根部分の花托は中空、揉むと甘い香りがします。精油には青色のカマズレンを含み、この化合物からうがい薬や胃薬として利用するアズレンスルホン酸が合成されました。

英語の「カモミール」は、この植物（違いを強調する時にジャーマンカモミールと呼びます）の他に、ローマカミツレ（英語でローマンカモミール）も指します。ローマカミツレは多年草で、属が異なり、精油成分も異なります。ローマンの名は、たまたまローマで見つただけで、原産地とは無関係です。



ハマナス (バラ科)

同じく、第二圃場で大型の深紅色の花が見られます。なお、第一圃場には白花の品種もあります。太平洋側では茨木県、日本海側では島根県の海岸沿いに生育する、中国原産の落葉低木で、茎にするどい棘が密生します。主に鑑賞用に栽培されています。和名は、果実の形から梨に例えられ、海岸沿いの「浜梨」が転じたことから。ちなみに日本で普及しているハマナスは一重咲ですが、中国のハマナスは重弁のものが多くいます。

中国語では、植物名も、その花蕾を生薬としたものの名も、「玫瑰（マイカイ）」と呼ばびます。漢方薬の原料としては使用しませんが、中医学では行気、和血の薬能を持ち、月経困難、疲労回復に用いられます。ただ実際はウーロン茶などとブレンドした「花茶」としての利用のほうが多いです。

今、こんな草木が
楽しめます！！